

# 【周防大島町】地域ぐるみの防災キャンプ

## 〈ねらい〉

「地域協育ネット」等が主体となり、学校・保護者・関係機関が連携し、さまざまな災害への対応について学ぶとともに、防災訓練や避難所生活を想定した宿泊体験、炊き出し訓練、救急救命訓練等を含む総合的な体験学習を実施し、児童生徒が災害発生時において、正しい知識をもとに的確に状況を判断し、自ら安全に行動することはもとより、他の人や社会に貢献できる心と実践力の育成を図る。

## 実施内容

- 1 実施日時：令和5年7月21日（金）・22日（土）
- 2 実施場所：三蒲小学校・三蒲B&Gプール
- 3 参加者：三蒲小学校児童22人、中学校生徒8人、高校生2人、三蒲小学校教職員8人、中学校・高校教職員2人、三蒲小保護者20人、地域住民22人、周防大島町関係部局職員5人

## 4 プログラム

### 【1日目】7月21日（金）

| 8:30 | 9:00 | 12:00                         | 13:00             | 15:00                              | 17:00             | 18:00                 | 21:00                          | 21:30 |    |
|------|------|-------------------------------|-------------------|------------------------------------|-------------------|-----------------------|--------------------------------|-------|----|
| 受付   | 開会行事 | 【講義・演習】<br>①救急救命法<br>②水辺の安全教室 | 【備蓄食料の実食】<br>(昼食) | 【講義・演習】<br>①ボランティア活動の実際<br>②写真洗い体験 | 炊き出し準備<br>ふれあいタイム | 【避難所生活体験】<br>(炊き出し夕食) | 【避難所生活体験】<br>①宿泊心得<br>②寝床づくり体験 | 就寝準備  | 就寝 |

### 【2日目】7月22日（土）

| 6:00 | 6:30     | 7:00  | 7:30              | 8:00                  |
|------|----------|-------|-------------------|-----------------------|
| 起床   | 宿泊用具の片付け | ラジオ体操 | 【備蓄食料の実食】<br>(朝食) | 振り返り<br>後片付け<br>閉会行事  |
|      |          |       |                   | 【訓練】<br>緊急時引渡訓練<br>解散 |

## 5 活動の様子

### 1日目

#### 《講義・演習 救急救命法》

柳井市広域消防組合西出張所の方々に、胸骨圧迫の方法やAEDの使い方の指導を受けました。救急車が到着するまで、意識がない人にどのような処置を施せばよいか、体験を通して深く学ぶことができました。



### 《講義・演習 水辺の安全教室》

B & G海洋センターの方に、水辺での安全について講話をしていただいた後、着衣水泳の体験を行いました。水中での動きの大変さや、長く浮いて命を守るための方法などを学びました。



### 《備蓄食料の実食》

昼食として、備蓄食料（携帯おにぎり、ライスクッキー）を食べました。携帯おにぎりは、湯をかけたり袋を切ったりする作業を要し、食べられるようにするのに時間がかかるため、事前に約10名の地域の方々にご協力いただき、昼食時刻に合わせて約70食分を作っていただきました。



### 《講義・演習 ボランティア活動の実際と写真洗い体験》

岡山県で災害ボランティアの活動をされている三蒲地区出身の方に、ボランティア活動についての講話をしていただき、写真洗いの体験をしました。日頃の防災学習では、災害時の安全確保や災害に備えた取組について学ぶことがほとんどですが、今回の演習は、災害が起きた後に自分にできることはないかを考える貴重な体験となりました。



### 《避難所生活体験 炊き出し夕食》

炊き出し夕食では、町内の栄養教諭を中心に、地域や保護者の方々にカレーライスを作っていました。約100人分ものカレーを手際よく作ってくださり、児童生徒は、たくさんの方々に支えられていることを実感したようです。米一升分は、ガスも電気も使えない想定で、野外で薪による釜炊きご飯も作っていただきました。



### 《避難所生活体験 宿泊心得・寝床づくり体験 就寝準備》

周防大島町総務課消防防災班の方々に避難生活での宿泊心得について講話をいただき、宿泊で使用するテントや段ボールベッド等の組み立ての体験をしました。実際の避難所で、知らない者同士が、同じ場所で安心して就寝することができるようにするためにどうすればよいかを考えることができました。



### 2日目

#### 《起床・ラジオ体操・朝食》

起床とともに、就寝で使用したテントやベッドを協力して手際よく片付け、運動場に集合してラジオ体操を行いました。朝食は、備蓄食料であるロングキープブレッドを食べました。



### 【児童・生徒・保護者・地域の方々の感想から】

#### 【小学生】

- 片付けなどをみんなで協力していたのがよかったです。中学生や高校生がいろいろなところで助けてくれました。自分も下級生に教えてあげることができました。避難するときには、助け合いが大切だとわかりました。
- 水辺の安全教室では、川や海でおぼれている人を見つけたら、水を入れたペットボトルを投げてあげればよいことがわかりました。
- 写真洗いの体験は初めてでした。大切な写真を元どおりにもどすことができることや写真が水につかってよごれても、捨てずにとっておいた方がよいことを知りました。
- 避難所では、助け合って過ごすことが大切だということがわかりました。自分たちのことだけでなく、他の人のこともできたので良かったです。寝る時は、静かに過ごしました。

#### 【中学生・高校生】

- ふだんから、地域の方と交流したり、考えを深めたりすることで、災害があった時に助け合えて、よりすばやく避難することができると思いました。今回学んだことを常に忘れることがないようにすることや、自分にできることを見つけることが大切だと思いました。
- みんなが過ごしやすい避難所になるためにはどうすればよいかを考えて行動することができました。たくさんの人に声をかけてもらってうれしかったし、とても元気ができました。
- 今まで、話でしか避難のことを知らなかったのですが、今回の防災キャンプを通して、実際に避難した時の生活などを経験でき、今まで以上に災害に対する意識が深められました。
- 笑顔をつくれるようなことを少しでもすることで周りの人も自分の気持ちも楽になるような気がしたので、災害にあった時も、笑顔で過ごしたいと思いました。

#### 【保護者・地域の方々】

- 子どもたちがとてもいきいきとしていて、防災について、地域の方と一緒に学ぶことができ、良い体験になったのではないかと思います。
- 避難することの大切さ、みんなで協力して災害をのりきることなど、たくさんのことを防災キャンプから学びました。災害が起きたらすぐに避難し、まず第一に命を守ろうと思いました。
- 声かけの大切さを一番感じました。災害時は、不安で辛いので、たくさん声を掛け合い、励まし合いたいと思います。
- 防災キャンプはとても思い出深い体験になりました。本当の避難所は、もっと大変なことも多いと思うので、今回のことをよく振り返ってみたいと思います。